

#### 報告事項4（周知・報告）

平成26年度 中学校2年理科で指導すべき内容を指導できなかった状況について

平成26年度 中学校2年理科で指導すべき内容を指導できなかった状況について、別紙のとおり報告する。

平成27年5月20日

## 平成 26 年度 中学校 2 年理科で指導すべき内容を指導できなかった状況について

### 1 指導できなかった学校の状況

平成 27 年 4 月 21 日に実施された「平成 27 年度全国学力・学習状況調査」において、理科の調査問題に関する教育内容(2 年生で学習する内容)を指導できないまま調査を実施した学校が、府域(政令市を除く)で 8 市町村 9 中学校あった。

<学校数>

豊中市	1 校	吹田市	2 校	四條畷市	1 校	富田林市	1 校
河内長野市	1 校	千早赤阪村	1 校	和泉市	1 校	忠岡町	1 校

<指導できなかった主な単元内容>

- 第 1 分野 (3) 電流とその利用 ア 電流 イ 電流と磁界
- 第 2 分野 (4) 気象とその変化 イ 天気の変化 ウ 日本の気象

<指導できなかった生徒への対応>

- 指導できなかった内容については、各学校において補習授業を行う。4 月末までに 4 校終了、5 月末までに 4 校、1 学期末までに 1 校が終了予定。

### 2 指導できなかった主たる原因

- 授業担当者の進行が遅かったうえに、年間指導計画を意識した進捗管理が不十分であった。
- 管理職を中心とした学校体制の中で、当該教科の年間指導計画の進捗管理が不十分であった。

### 3 府教育委員会の対応

- 当該市町村教育委員会に対して、各校の補習状況等についての確認を行う。
- 市町村教育委員会に対して、以下の内容を指導する。
  - ・年間指導計画の内容とその実施状況の把握の徹底。
  - ・教育課程が適切に実施されるような学校体制(状況把握、進捗管理等)の徹底。

### 4 大阪府公立高等学校入学者選抜における調査書の評定の扱い

- 指導できないまま調査を実施した学校の平均正答率は、当該問題の結果を除いて算出する。また、当該校に適用する府の平均正答率については、指導できなかった問題を除いた平均正答率を、府教育委員会において別途算出し、当該中学校に提供する。